

# NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA 新・奥の細道

一周ルート  
⑨

陣峰市民の森とやきもののみち  
Jinposhimin-no-morito yakimono-no-michi



山形県

## 周辺のアクセスガイド

新庄市までは  
・JR山形駅より奥羽本線で新庄駅まで54分。  
・山形空港よりJR神町駅までタクシーで10分。奥羽本線に乗り換えて新庄駅まで50分。



観光・宿泊のお問合せ	新庄観光協会 〒996 新庄市住吉町3-8	☎0233-22-2340
	新庄地区物産協会 〒996 新庄市堀端町4-74	☎0233-23-4097
	新庄ふるさと歴史センター 〒996 新庄市堀端町4-74	☎0233-22-2188
交通のお問合せ	JR新庄駅 〒996 新庄市多門町1-1	☎0233-22-3102
	山形交通新庄営業所 〒996 新庄市若葉町3-31	☎0233-22-2040
コースのお問合せ	新庄市商工観光課 〒996 新庄市沖の町10-37	☎0233-22-2111
	山形県自然保護課 〒990 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2204

表紙の写真は、展望の森から見る鳥海山

# GUIDE みどころ案内

## 東山焼

Higashiyama-yaki

新庄東山焼は天保12年(1841)、新庄藩御用窯として開窯以来「どなた様からも親しまれ、日常生活のなかで使用していただける陶器を製作する」という家訓を守り、敷地内の豊富な陶土と、出羽の雪のかげりの色と言われている「なまこ釉」をはじめ、「鉄釉」・「そば釉」など、種々の家伝の釉薬を用い、全国的に数少なくなっている「登窯」で焼かれている。



東山焼

東山公園の整備にあわせて、新庄市文化財指定を受けた「東山焼コレクション」の陳列、由緒ある茶室(陶瓶庵)を中心にさらに環境をととのえ、東山公園にふさわしい窯場づくりを進められている。特に、本窯元のある東山公園は、新庄市街を一望のもとに見渡すことができ、さらに遠く鳥海・月山・葉山の霊峰を仰ぐことのできる名所となっている。

- ◆楽焼体験料金／絵つけ500円～手びねり粘土1,400円/kg
- ◆お問い合わせ／☎0233-22-3122
- ※釉薬……うわくすり。楽焼に塗りつやを出す薬品。

## 陣峰市民の森

Jinpo-shimin-no-mori

陣峰の50haの自然はいきいきと表情ゆたか。春は山桜が咲き誇り、ナラの新緑は目にまぶしいほど。夏、遊歩道を行けば林を渡る風は頬にやさしく、野鳥のさえずり、夏の蝉しぐれは天然のBGM。心がノビノビ、身体がワクワクする陣峰市民の森には緑がいっぱい。思い思いに楽しいひとときをお過ごしください。

- ◎展望の森 標高323.9mの陣ヶ峰に立てば、新庄盆地が一望できる。また、修験の山月山、秀峰鳥海山などの山並みが身近に迫り、すばらしい自然の眺望を楽しめます。
- ◎芝生広場 清澄な空気と太陽の光、そして自然の森や草花の中での森林浴は、心にやすらぎをくれ、また、体をリフレッシュさせ、明日への希望と活力を与えてくれます。
- ◎湖畔の広場 水と木と空を、湖と森と小広場の調和で表現しています。このひょうたん池は陣ヶ峰から流れでた水を集めた池で夏にはハスの赤い花が咲きます。また、この池は魚釣りもできます。



芝生広場

湖畔の広場

この自然歩道は、新庄市民に広く親しまれている風光明媚な道です。「陣峰市民の森」は、さまざまな植物が生い茂っています。春は山桜、夏は新緑の間を吹き渡るそよ風、秋は萩の花、クリ拾いと、訪れた人の心を和ませてくれます。また歩くだけでなく、5代続いている「東山焼」の楽焼もできるコースです。

## 鳥越八幡神社

Torigoe-hachiman-Jinja

新庄藩の戸沢定盛が、鷹狩りに際し神の威光を感じるところがあり、現在の地に社殿を造営し城下の鎮めとしたと云われている。本殿は寛永15年(1638)建造された。新庄最古の建造物であり拝殿は少し遅れて元禄4年(1691)に造営された。全体の構成が美しく江戸時代初期の建築技術の高さをうかがえる貴重な建物となっている。現在は、この一帯が八幡公園として春秋の人出で賑わっている。国指定重要文化財。



鳥越八幡神社

## 新庄まつり

Shinjo-matsuri

今から約240年前の宝暦5年(1755)、新庄は大凶作に見舞われた。時の藩主戸沢正誥は、領民の志気を高めるとともに豊作を祈願するため、翌年、新庄城内に鎮座する天満宮の祭礼を領内あげて行ったのが新庄まつりの始まりである。

山車は町内若連の手づくりで、素人が作ったものとは思えないほど豪華なものである。8月24日は宵まつり、照明に照らされた山車が20台ほど列をなして練り歩く。25日は本まつり、古式豊かな神輿渡御行列と、宵まつりとは一味違う雰囲気の中、山車パレードが行われる。26日は県指定文化財「萩野・仁田山鹿子踊」が見もの。

この3日間、優雅なまつり囃子に酔いしれる観光客40万人で、街は活気にあふれる。

※山車……一般には「だし」と呼ぶが、新庄まつりでは「やたい」と呼ばれている。



新庄まつりの「山車(やたい)」

# YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



## "新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で經由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで792kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
  2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
  3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。